令和７年度
すくわくプログラム
活動報告書

とちの木保育園

ポニーとあそぼう

設定理由　：　自然、動物への興味関心をもっているため

活動のねらい：ポニーとのふれあいを楽しみながら、動物を可愛がりながら命のぬくもりを知ったり、好奇心を育んだり、豊かな感受性を促していく。

対象クラス：　　０～５歳児クラス　７１名

スケジュール：　　令和７年４月～令和８年３月（計６回）

０、１歳児。
ポニーさんがトラックからおりてくる
とろこをじーっと観察。
えさやりは、大人があげているのを
見ています。
「おいしい？？」







２．３歳児はポニーのえさやり。

今日はどの子が来たかな？「こむぎちゃん？ごんちゃんかな？」子どもたちは赤ちゃんの頃からポニーに触れ合っています。

手をグーにして１本ずつエサを持ち、ポニーに食べさせます。

ポニーが好きな子は、「フサフサだね」「きもちいい～」と毛をなでたりもします。







４歳児は「こわい…」と言う友だちの手をとり「だいじょうぶだよ！」と一緒にえさやりする姿も。

５歳児はうんちの掃除をしたり、手綱を持って一緒に歩いたり。ポニーの身体のこと、気持ちのこと、考えながらお世話したり触れ合ったりしています。









３月には、４，５歳児がポニーの牧場へ遠足に出かけました。たくさんのポニーにエサやりしたり、ポニーの各部屋のうんちを友だちと協力して片付けたり、ポニーに乗せてもらったり…。
ポニーがおもいきり走る様子も見せてもらい、その迫力にびっくりの子ども達でした。









社会福祉法人　育和会　　とちの木保育園

振り返り

小さい頃からポニーと触れ合う中で、ポニーの様子を見ながら自分でエサやりをしたり、触らせてもらったりしながら、生き物のあたたかみやかわいらしさを知っていった。５歳児は触れ合う度にポニーに関する疑問がたくさん出てきたが、自分達で「なんでかな？」「～だからかな？」と考え、牧場の方に聞いたり実際のポニーの様子を教えてもらったりしながら、知識を養っていった。遠足ではたくさんのポニーのお世話をして、自分たちも役立てる喜びを感じていた。